

△ 注 意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などで指がをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。
- 高温多湿な場所での使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- じゅうたんや畳などやわらかい床では荷重で沈んだり跡がつくことがあるため、敷物や当て板を敷いてください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上に本製品を設置して、長時間置いたり、紫外線や高温にさらすと、色移りで表面が変色する場合があります。
- ものをかける時は、荷重が一点に集中しないように均等にかけてください。また、耐荷重を超えてものをかけないでください。
- 高さの調節は必ず大人が行い、幼児や子供にはさせないでください。
- 勢いよく下がる恐れがあるので、高さを調節する時は、かけてあるものをおろしてから調節してください。
- 高さを調節する時は、指などはさまないように充分注意してください。
- 高さを調節した後、しっかり固定されているか必ず確認してください。
- 本体にのぼったり、ぶらさがったり、つかまって立ち上がったりしないでください。特に幼児や子供には注意してください。
- 本製品のキャスターは屋内での短距離移動用のものです。頻繁な移動や長距離の移動はお止めください。
- 開梱時に、においが気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところにとしばらく置いてから使用してください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。

お手入れの方法

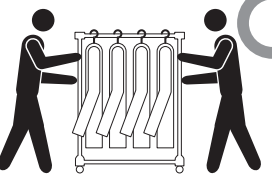
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。



電動ドライバーなど、**電動工具の使用はお止めください。**
部品の**変形や破損の原因**になります。**組立てる時やねじの締め直しをする時は、必ず手動の工具を使用してください。**

本製品は、ねじを用いて連結している商品です。使用を続けていく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用を続けると、連結部の折れやはずれの原因になります。安全に長く使用していただくために、定期的な締め直しをお願いします。

安全にお使いいただくために、下記の行為に注意してください。



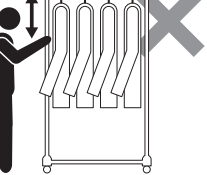
●移動する時は、本体の両側を両手でしっかり持ち、かけてある物が落ちないように注意してください。水平で平らでない場所では、かけている物をすべて下ろしてから移動してください。



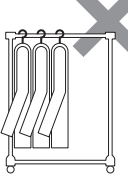
●ハンガーポールにぶらさがないでください。



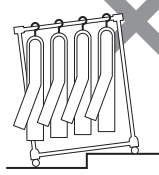
●横パイプに足をかけないでください。



●ものをかけたまま調節しないでください。



●偏ってものをかけないでください。



●不安定な場所で使用しないでください。

 **株式会社ドウシシャ**

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10
0120-104-481
【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】
※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。
※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

検索

MADE IN TAIWAN

◎品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに弊社お客様相談室へご連絡ください。
◎本製品及び梱包材を廃棄する時は、お住まいの自治体の取決めた処理方法に従ってください。
◎天災などの不可抗力やお客様ご自身での修理・改造による故障・破損に対する補償等は致しかねます。

Lot No,

楽ちん上げ下げハンガーシングル

取扱説明書

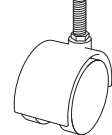
この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

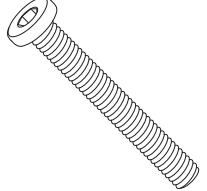
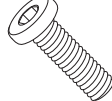
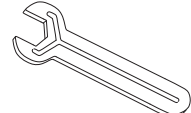
品 番	組立てサイズ(cm)			耐荷重(kg) *				
	幅	奥 行	高 さ	ハンガーポール	ヨコ延長ポール	下棚(横パイプ)	(全体)静止時	(全体)走行時
RPHS-80	(約)80～129.5	(約)47.5	(約)107～161	30	2 (一本あたり)	6	40	20

※本製品の耐荷重は測定値であり保証する値ではありません。

内容明細

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	ハンガーポール	支柱	脚パイプ	横パイプ	キャップ	キャスター
部品図						
数 量	1	2	2	4	4	4

部品名	ねじ長	ねじ短	ワッシャー	スパナ	六角レンチ
部品図					
数 量	2	8	2	1	1

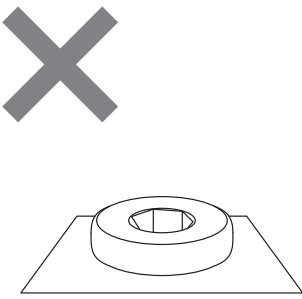
付属の工具は組立て後も点検のために使用します。大切に保管してください。

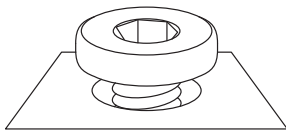
組立てのポイント

最初からねじをきつく締めると他のねじ穴の位置が合わず、組立てができなくなります。また、全体のゆがみの原因になるため、ねじは最初からきつく締めないでください。

〈仮留め〉について

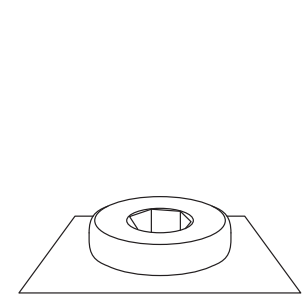
 全てのねじを仮留めする。
(7～8割くらい締める。)

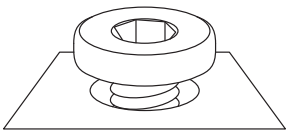




〈しっかり締める〉について

 全てのねじをしっかり締める。
(全体にゆがみがないように調整して締める。)



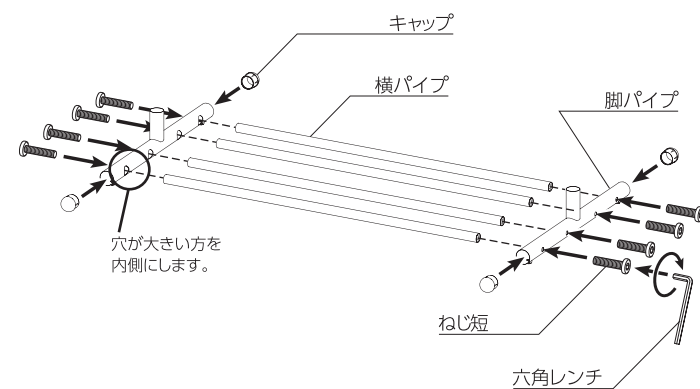


1 キャップと横パイプの取付け

脚パイプに横パイプを差し込み、ねじ短で仮留めした後に全てのねじ短をしっかり締めします。



電動工具の使用はお止めください。



△ 注意

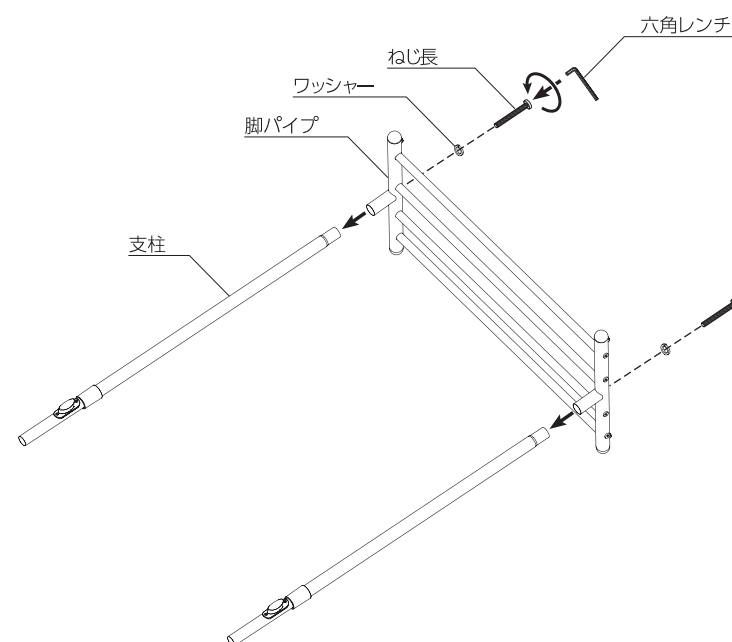
脚部キャップを取付ける際は、手や指をはさまないようにご注意ください。

2 支柱の取付け

支柱を脚パイプにねじ長とワッシャーで取付けます。

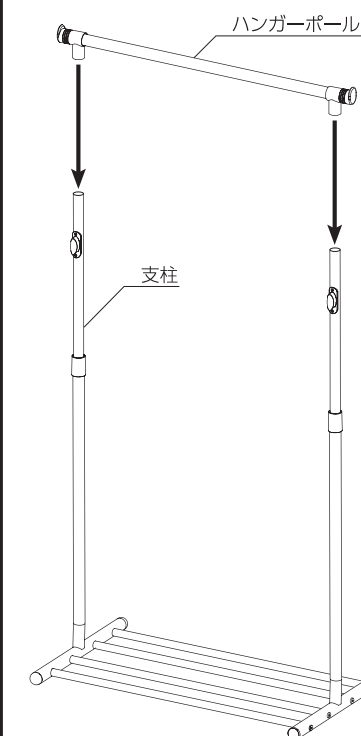


電動工具の使用はお止めください。



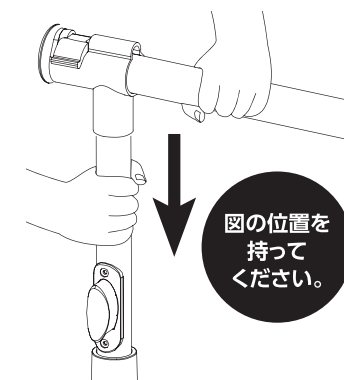
3 ハンガーポールの取付け

支柱が垂直になるように注意しながら、ハンガーポールを奥まで差し込みます。



△ 注意

支柱とハンガーポールの幅が合うように片方ずつ両手で確実に取付けてください。



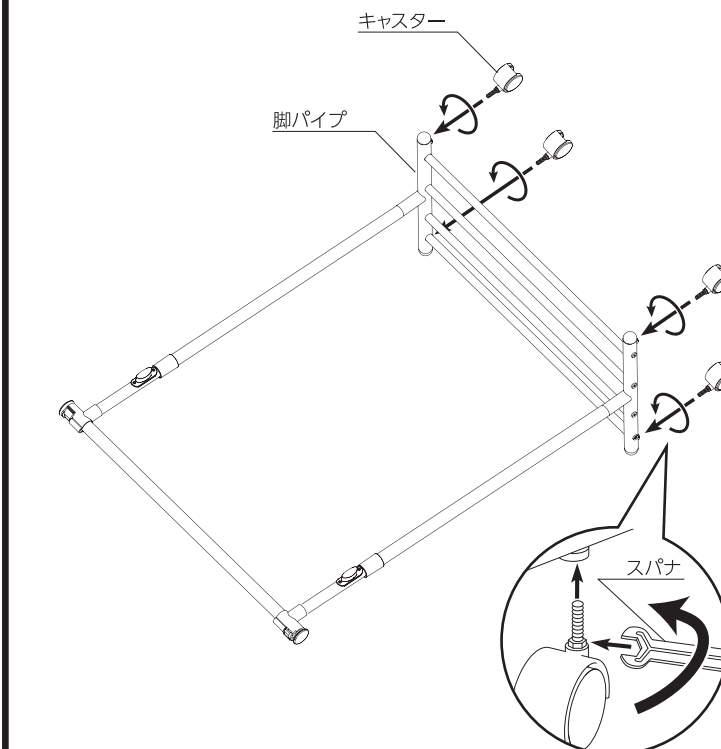
図の位置を持ってください。

△ 注意

ハンガーポールを取付ける際は、手や指をはさまないようにご注意ください。

4 キャスターの取付け

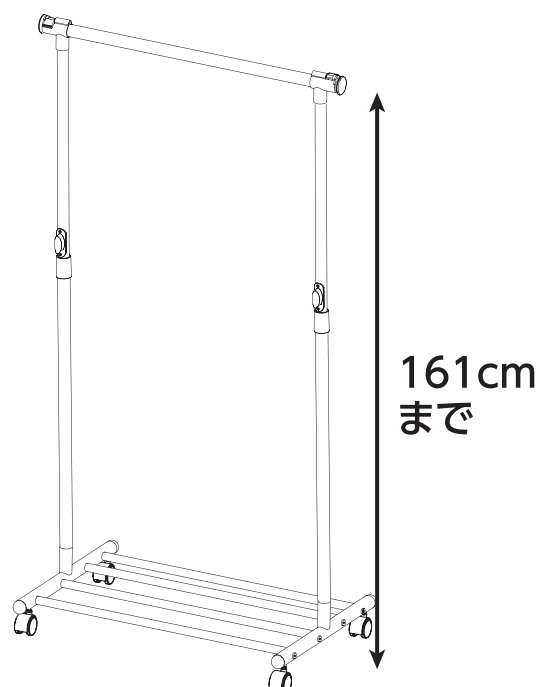
本体を横に向けて、キャスターをスパナで取付けます。



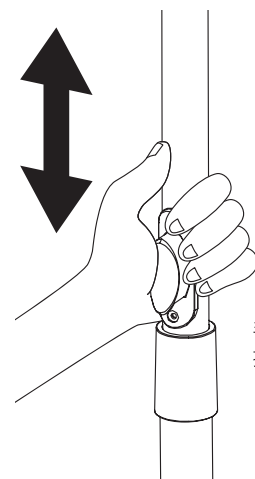
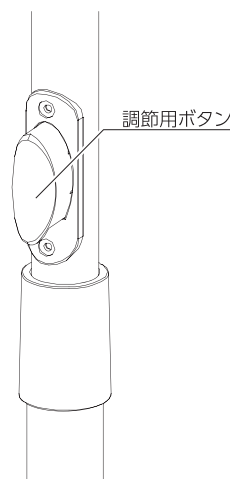
図のようにキャスターを締付けます。

5 完成

ハンガーポールの高さは床から161cmを超えない位置で調節してください。



高さの調節方法



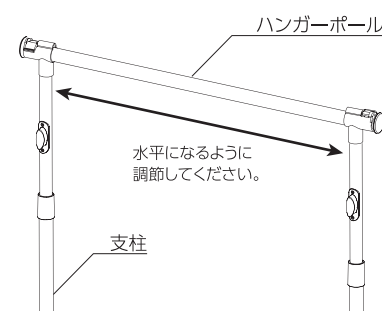
手のひらで、調節用ボタンを押しながら調節してください。



調節用ボタンを押さずに動かすことはお止めください。

△ 注意

- 調節用ボタンを押さずに動かすことはお止めください。故障の原因になります。
- 高さの調節をする場合は、落下に充分注意してください。特に下げる時は、手や指をはさまないように注意してください。
- お子様には操作させないでください。

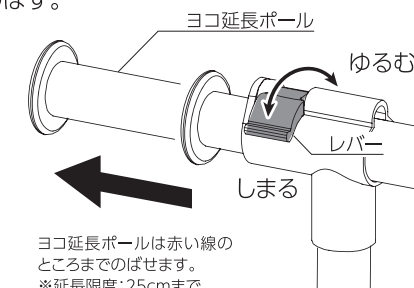


△ 注意

必ずハンガーポールが水平になるように調節してください。

ヨコ延長ポールの使用方法

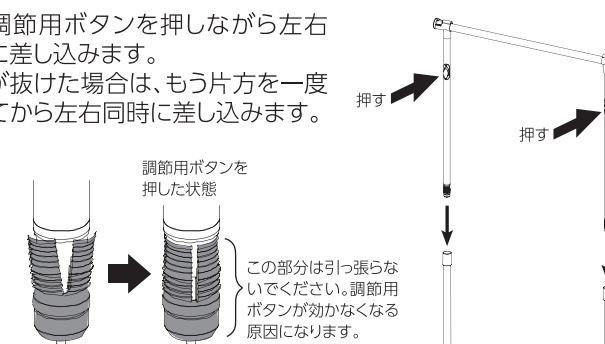
- ①レバーをゆるめる。
- ②ヨコ延長ポールをのばす。
- ③レバーをしめる。



ヨコ延長ポールは赤い線のところまでのばせます。
※延長限度: 25cmまで

もし支柱が抜けてしまったら

- 必ず調節用ボタンを押しながら左右同時に差し込みます。
- 片側が抜けた場合は、もう片方を一度抜いてから左右同時に差し込みます。



この部分は引っ張らないでください。調節用ボタンが効かなくなる原因になります。